

1 目的

ESD（持続可能な開発のための教育）は、2016年の中教審答申において新学習指導要領の基盤となる理念と位置づけられた。学校教育において、気候変動、資源の枯渇、貧困の拡大など地球的課題を自らの問題として捉え、課題解決につながる新たな価値観や行動変容をもたらすことが期待されている。本講座では地理的な学習をベースに地球環境問題をどう取り上げるかを検討し、ESDに関する指導力の強化を目指す。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目V－推進項目15－㊸教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

- 素養「B 識見・学び続ける力」
- 授業力・学習指導「B 授業構想力」「C 授業実践力」
「D 授業省察力・改善力」

2 主催

徳島大学、徳島県教育委員会

3 期日

令和7年7月30日（水）

4 会場

徳島大学 総合科学部 1号館3階ゼミ室7

5 対象者

- (1) 職種 教職員
- (2) 校種 小・中・高・中等・特
- (3) 定員 10名

6 内容

- (1) 講義「ESDの目標と授業設計」
- (2) 実習「地球環境問題の授業づくり」
- (3) 協議「地球環境問題をどう教えるか」

7 講師

徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域 教授 豊田 哲也

8 日程

- 9：30～9：50 受付（総合科学部 1号館3階ゼミ室7）
- 9：50～10：00 開会、イントロダクション
- 10：00～12：00 講義「ESDの目標と授業設計」
内容 地理教育における地球的課題の授業設計について講義を聴講する。
- 12：00～13：00 昼食
- 13：00～14：30 実習「地球環境問題の授業づくり」
内容 地球環境問題をテーマに各自の教案をもとに実践報告や計画発表を行う。
- 14：40～15：50 協議「地球環境問題をどう教えるか」
内容 各自の発表をふまえ効果的な授業実践例に向けた情報共有や意見交換会を行う。
- 15：50～16：00 リフレクション、閉会

《裏面に続く》

9 準備物

筆記用具等（署名ができるボールペン等を準備してください。）

10 その他

- (1) 高校地理で扱う「地球的課題」をベースにしますが、内容は歴史、公民、理科などの科目とも関連し、探求学習にも役立ちます。
- (2) 徳島大学教養教育院で開講中の講義「SDGs 地球環境問題」について、事前にオンデマンド教材（15回分）を提供します。
- (3) 当日は各自の授業実践や授業計画について発表してもらいますので、準備をして参加するようにしてください。
- (4) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和7年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】徳島県立総合教育センター教職員研修課
kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】徳島県教育委員会体育健康安全課
taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信時に使用）
taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（上記以外に使用）
- (5) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(4)の手順に従ってください。
- (6) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月～10月に実施する研修についてはエコスタイル（夏はノー上着・ノーネクタイ等）で結構です。
- (7) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（徳島大学の場合は「徳島市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。
- (8) 昼食は、近辺でとるか、各自で御用意ください。
- (9) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 指導主事 宮城 久子 088-672-6419